



保健委員による発表

6/4～6/10は『**歯と口の健康週間**』です。
保健委員会による発表がありました。

6月10日(火)業間活動の時間に、保健集会が開かれました。保健委員が、給食当番の手洗いの仕方や食後に使用する歯ブラシについて、寸劇とクイズで発表をしてくれました。

本校は、むし歯の治癒率向上が大きな課題となっています。まずは、むし歯にならないために正しい食習慣と間食の甘味制限、食後の歯みがき等をしっかり行うこと。そして、早期治療に心がけていただけたらと思います。ご家庭の協力をよろしくお願いいたします。



—追伸— 平成25年度から『歯の衛生週間』から『歯と口の健康週間』と名称が変更されました。また、今年度の標語は、『歯と口は健康・元気の源だ』です。『8020』を目指しましょう。

水泳学習がスタート！

今年度も町民プールにお世話になり、水泳の学習がスタートしました。梅雨の季節でも天気を気にせず、行えるのは本当にありがたいことです。低学年を中心とした保護者の協力もよろしくお願いいたします。



4年生：水泳学習



5年生：水泳学習



明日は遠足&旅行です。



梅雨入りした途端に連日の雨で、12日も天気が心配されます。実施できることを願うばかりです。保護者のみなさまには、当日のお弁当や送迎等よろしくお願いいたします。

子どもたちが遠足・旅行から帰ってきたら、いつも以上におみやげ話に耳を傾けていただけたらと思います。きっと、楽しいお話をたくさんしてくれると思いますよ。

学年	方面	集合場所	集合時刻	解散(予定)時刻・場所	雨天時
1年生	天狗山方面	学校	通常	13:30 天狗山	順延あり
2年生	迷路・西の河原方面	学校	通常	13:30 西の河原公園	
3年生	殺生方面	学校	通常	14:20 天狗山レストハウス	
4年生	野反湖方面	学校	通常	15:00 総体	
5年生	上毛新聞社、少年科学館	総体	8:10	17:15 総体	順延なし
6年生	東京・鎌倉方面 (6/12～6/13)	ターミナル	5:10	19:30 ターミナル	
		学校前	5:30	19:25 学校前	
		谷所	5:40	19:20 谷所	



「リュックからランドセルへ」 育ちと学びのネットワーク



草津町「5歳児運動健診」の取組

草津町では、平成24年度から、教育（教育委員会）と保健（健康推進課）との連携による「5歳児運動健診」をスタートさせました。この取組は、子どもの発達を多角的にとらえ、就学にあたって、保健・福祉から教育へのバトンをよりスムーズにつないでいこうとするものです。健診にあたっては、臨床心理士や医師等で構成される専門家チームが担当してくださいます。さらに、就学後は、専門家チームの指導助言と担任の見取り、また、家庭との連携により、より個に応じた教育の実践を図り、子どもたちの健やかな成長につなげようとしています。

この取組は、文部科学省でも推奨はするものの、実践している自治体は数少なく、群馬県においては、草津町のみで、まさに先進的な取組といえます。このような取組が可能になった要因には、医学の進歩と草津町の行政理解があげられます。医学分野では今まで見えなかった脳と心との関係性が見えるようになり、より具体的な手立てが講じられるようになってきました。草津町では、『観光と福祉（含む：教育）の両立』を町の指針とし、少子高齢化社会の中で、高齢者への対応と共に、これからの草津町を担う世代への早期対応にも力を注いでいます。また、学校教育においては、平成19年度より特別支援教育として、特別支援学級に在籍する子どもたちだけでなく、通常学級に在籍する子どもたちへの対応も個に応じた教育が推進されています。

今年度も6月と9月の2回にわたり、運動（身体の協調運動・リズム感・バランス感覚）、作業（指先の動き・こだわり・集団行動）、ビジョン（視野・個の行動）、講演（保護者への育児支援）の項目で実施されます。既に第1回は6月6日に実施され、群馬県教育委員会関係者、郡内各町村教育委員会担当者等の視察、さらに草津町教育委員さんの参観もありました。

健診というと、学力検査や身体検査等を思い浮かべてしまいがちですが、幼稚園や保育園で通常行われているような工作やボール遊び等を行うもので、最初は緊張していた子どもたちも時間の経過と共に、楽しく工作やボール遊びを行っていました。工作では時間が足りなくなり、「色が塗りきれない。」「もっとやりたい。」等の声が聞こえました。ボール遊びでは、園児でも十分対応できる大きさのバランスボールを使い、音楽に合わせてワニさんポーズをしたり、ボールつきをしたりしました。終わった後は汗びっしょりの子どもたちで、全ての園児が笑顔だったのが印象的でした。講演会では保護者を対象に、日常での子どもとの関わり方や遊び方を工夫していく方法を実際に体験しながら進められていました。

この取組の素晴らしいところは、健診をして、個の様子をつかむだけでなく、専門家チームから幼稚園や保育園、さらには保護者に、子どもたちへの接し方や支援の仕方等の具体的方策について、指導していただけるところです。学校においても同様で、専門家チームから指導・助言がいただけます。

「たった1時間程度の見取りで全てが分かるのですか？」と思われる方もいると思いますが、何百・何千という子どもたちを健診してきた専門の先生です。また、チームとして取り組んでいますので、その見取りに間違いはないと確信しています。今後も、この取組を継続させると共に、『草津方式』として県下の市町村に広がることを期待しています。



運動ブースの様子



作業ブースの様子